|  |  |
| --- | --- |
| **７**  （月） | をすついた  /ヨンドにいたときにった |
|  | **マタ16章13～20節**　シモン・ペテロがえた。「あなたはけるのキリストです。」(16) |
|  | はもみことばをして、りにえ、いのきをしげておられます。Remnantは、このをって、、う、、、でがなさっていることをつけましょう。そして、それをにえるのです。  １つ、なぜならくのがついてをしてさっているからです。しかし、のではつけることができません。はからはにうことができないからです。ただのみによってだけです。そのがキリストです。はこのをるRemnantをして、このがえられることをっておられます。２つ、くのがシャーマニズムや、にっています。とのためにもがくのですが、えをけることができません。なぜなら、をれたのために、わざわいとサタンののできているからです。このすべてのをわらせたキリストのえをえるのです。キリストによってたちはとともにいることができます。このがRemnantのになるようにしましょう。  けたみことばをってひとりでしてみましょう。すると、のみことばがでするのをできるでしょう。 |
|  | 、、う、、、でがなさるきをますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.05.07.237新しい家族現場働き人訓練1講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **８**  （火） | なぜこのようながじたのでしょうか  /はだれなのか |
|  | **Ⅱコリ10章4節**　たちのいのはのものではなく、のためにをちすがあるものです。 |
|  | すべてのがサタンにだまされてのにっています。これがサタンのやぐらです。イエスがくださったやぐらがてば、によってサタンのやぐらがちされます。ですから、Remnantはりによって、７やぐらと７、７しるべにしましょう。そのために、Remnantがにすることがあります。  １つ、すべてのがをにえています。これをてるべきだとりましょう。がだとえたのですが、はサタンがそのをつかまえてにしているのです。ここからすべてのがまりました。Remnantはイエス・キリストがのであることをりでしましょう。２つ、はだれなのかとしてみましょう。はをれたによってがんでだけったのろい、サタンののにいます。このをするために、がとなってこのにてくださいました。そのこそが、イエス・キリストです。イエス・キリストのをじるはわれます。  どんなものもキリストにつことはできません。いまは、Remnantはイエス・キリストのでりをめましょう。すると、のがRemnantのでやぐらとなってくださり、Remnantのとのをいてくださいます。 |
|  | 、をれたのにいるをってくださったキリストをりでわうことができますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.05.07.237新しい家族現場働き人訓練2講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **９**  （水） | イエス・キリストはだれなのか |
|  | **ヨハ14章6節**　イエスはにわれた。「わたしがであり、であり、いのちなのです。わたしをしてでなければ、だれものみもとにくことはできません。 |
|  | Remnantは、のがのやぐらであることをりましょう。そして、のとのをがいてくださっていることをり、それとともにしてみましょう。イエス・キリストはいったいだれなのでしょうか。  １つ、がされてイエス・キリストとしててくださいました。イエス・キリストは、にうをいてくださいました。をれてにんでだけがったわざわいのにいるをしてくださいました。をれさせるサタンのわざをにわらせました。このようにまことの、まことの、まことのとしてられたのです。２つ、イエスがキリストであるをしましょう。でされたとおりでなれ、されたとおりよみがえられました。いまはとのすべてのをって、たちといつもともにいるとしてくださいました。このをにべえなさいとわれました。３つ、Remnantはこのをじるだけでよいのです。じるときわれて、のきがこります。  Remnantは、このをえるキリストのです。からイエス・キリストのをりでわうせなをちましょう。 |
|  | 、イエス・キリストをにって、にえるキリストのになりますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.05.07.237新しい家族現場働き人訓練3講 |

|  |  |
| --- | --- |
| **10**  （木） | われたする |
|  | **エペ4章25～32節**　のをしませてはいけません。あなたがたは、いののために、によってをされているのです。(30) |
|  | Remnantは、がをするだとしましょう。そのに、のがやぐらとなってくださり、をいて、のしるべになってくださることをりましょう。  １つ、われたはのをけます。Remnantがイエス・キリストによってわれたをわっていれば、われることにめられていたにいます。そのにいのをえるのです。そのとき、につのがします。２つ、われたはのをけます。Remnantは、とにいられるほど、にをけます。そのとき、につがこります。３つ、われたにはをかすがています。このをらずにいたら、サタンにだまされてそのがえません。Remnantはこのをずえましょう。すると、をかすRemnantがします。  Remnantは、をしてをえるにいないので、はずしてくださいます。がいなくをするだとっているのかをにしてみましょう。そして、のでそのをするをちましょう。 |
|  | 、をするRemnantとしていられますように。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.10.27.1部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **11**  （金） | はの |
|  | **エペ6章10～20節**　たちのはにするものではなく、、、このののたち、またにいるもろもろのにするものです。(12) |
|  | はにえないのですが、もなです。Remnantはがのだというをりましょう。これからのがてられるようにりましょう。  １つ、のにあるです。としてられたイエスがのになるようにけれましょう。Remnantのにがおられれば、Remnantはのです。２つ、にあるです。Remnantをしてう、、、でがれます。すると、すべてがかされます。３つ、をめるです。サタンがにくのをって、をみんな\*わしています。はをのにまきらしています。Remnantは、のとをめるがられるようにりましょう。そして、がについてることができるようにをしましょう。  Remnantは、サタンのにれることがないようにしましょう。いのとのみことばで、からのまでして、に24るのです。すると、がえをえてくださいます。これがRemnantのので、をかすです。  \*わす：にほかのことにまぎれてからないようにさせること |
|  | 、ととにをすることができるをててください。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.10.27.2部 |

|  |  |
| --- | --- |
| **12**  （土） | ローマをするレムナント |
|  | **使19章8節**　パウロはにって、かのにり、のについてじて、をしようとめた。 |
|  | パウロはとしてをってでのについて、みことばをえました。パウロののきは、ローマのなになりました。それならたちのRemnantは、どんなをすればいのでしょうか。  １つ、Remnantはをして、わざわいのをりましょう。、、、のになるしかなかったのは、がからなかったからです。をらなければ、わざわいがみます。ですから、Remnantはをしましょう。２つ、わざわいのをってしましょう。キリストがんでよみがえらなければならないをえるのです。とりをして、これらすべてのことがされて、をおろし、になります。そして、もなえはのだというをえるのです。３つ、にえましょう。パウロはイスラエルのとポンペイの、ローマというをってえました。Remnantもさらになにしてえるのです。  にをにえるべきがをめています。Remnantは、がくださったをっているとしてち、がとをかされるのをるえをわいましょう。 |
|  | 、するしかないをっているとして、がさせてください。きておられるイエス・キリストのによっておりします。アーメン  2024.11.02.レムナントとTCK伝道学 |